

# 母 子 草

令和6年度活動テーマ つなごう人の輪、守ろう地域の輪

<発行所>

大津市におの浜4丁目3-26

社会福祉法人

滋賀県母子福祉のぞみ会

TEL 077-522-2951

FAX 077-521-5082

e-mail

<発行人>坂下ふじ子

## 子どもの笑顔と幸せあふれる滋賀をめざして



秋冷の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日ごろから、本県のひとり親家庭や寡婦の福祉向上にご尽力いただいております滋賀県母子福祉のぞみ会の皆様に、改めて感謝申し上げます。県では、子どもの笑顔と幸せあふれる滋賀を目指し、子ども若者施策を総合的に企画調整し、迅速かつ効果的に推進していくため、県庁内の司令塔として、本年4月に「子ども若者部」を設置しました。県政の最重点施策の柱としている「子ども・子ども・子ども」施策の理念において、一つ目の子どもは「主体としての子ども」、二つ目は「社会の一員としての子ども」、三つ目は「未来への希望としての子ども」という思いを込め、子ども一人ひとり、子どものまわりにいる大人一人ひとりを大切にする視点を持って施策を推進しております。

昨年度実施した滋賀県ひとり親家庭等生活実態調査では、就業している母子家庭の割合は93%となり就業率は上昇したものの、生活が「苦しい」と回答した割合も67%に上昇しました。また、この調査において、ひとり親家庭等のために必要な施策として「経済的支援の充実」や「子どもの学習・教育支援」等を求める声もお伺いしました。このような状況を踏まえ、県では、「淡海子ども若者プラン」に基づき、ひとり親家庭を支える取り組みを進めているところです。児童扶養手当などの経済的な支援をはじめ、就職支援、保育サービスの拡充、そして相談体制の強化など、様々な取り組みを通じて、ひとり親家庭が安心して暮らせるよう、地域社会と連携しながらサポートしてまいります。

一方、滋賀県母子福祉のぞみ会様におかれましては、住まいが不安定なひとり親家庭へのシェアハウス事業の実施や、食料支援を行うフードパントリーなど、きめ細やかな支援活動を展開されております。ひとり親家庭の様々なニーズに的確に応え、支援に直接結び付ける貴会の取り組みは、県としても大変心強く感じております。県内唯一の母子寡婦福祉団体である滋賀県母子福祉のぞみ会様の益々のご発展と、会員の皆様のご健康と益々のご活躍を祈念するとともに、今後とも、親と子が、健やかに安心して暮らせる環境をつくるため、お力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## ひとり親家庭の暮らしを支え続けて

滋賀県母子福祉のぞみ会

会長 坂下ふじ子

最初に、能登半島豪雨で亡くなられた方、また避難されたすべての方々に、心よりお見舞い申し上げます。元旦の能登半島地震のきざしも、ようやく復興に向けたこのタイミングでの災害言葉にならない感覚を覚え、心が痛みます。また、日ごろは、会活動にご協力、ご支援を頂きまして誠にありがとうございます。滋賀県庁におかれましても、この4月より子ども若者部が新しく新設され、お喜び申し上げます。

さて、母子家庭や寡婦等ひとり親家庭を取り巻く社会経済環境は、「令和5年度滋賀県ひとり親家庭等生活実態調査」においても、暮らし向きに対して、約7割の方が「苦しい」「大変苦しい」という結果が出ています。不安定な就労、低収入、子育て問題など、ひとり親家庭をめぐる状況は、依然として厳しいものがあります。こうした中で、最近の消費者物価指数の高騰による経済の停滞や生活への不安感など社会状況が大きく変化し、特にひとり親家庭においては生活困窮者が増加していることなどを考慮し、ひとり親家庭の生活基盤の一層の充実を図り安心して暮らすことのできる社会づくりに向けて関係者の積極的な取組や活動が求められています。

当会では、そんな中、令和2年から自主事業としてフードパントリー等を実施しています。令和5年度においても、2202世帯(4,353人支援)をさせていただき、テイクアウト弁当の配布等も提供させて頂いています。子どもの視点に立った居場所づくりについても、充実化を図るため特に、次代を担う子どもたちの健全な成長を目指しています。また、このたび離婚後の親権制度を見直す「改正民法」が5月17日に成立し、2026年にも施行される見通しとなりました。民法改正の成立・施行に伴う具体的議論の必要性についても、まだまだ検討が必要ではないかと思われまます。

最後になりますが、会員をはじめひとり親家庭の皆様、県・市町の行政の皆様今後ともご支援ご協力の程、宜しくお願い致します。



# 故守田厚子さんを偲ぶ会

## ◇ 開催趣旨

故守田厚子さんが亡くなられ、本年十月で没後20年を迎えるにあたり、改めて守田さんの業績を偲び、その精神を次代に繋げます。

## ◇ 故守田厚子さんについて

滋賀県母子福祉のぞみ会会長、滋賀県遺族会会長 全国未亡人団体協議会会長、明治35年(1902)年8月12日生まれ。

平成16(2004)年10月1日永眠。女性と子どもの社会福祉に関する様々な法律・制度の創設、各種団体設立、今日の社会福祉の基礎を築かれた人。



守田厚子さんは、幼少時に陸軍軍人だった父親を日露戦争で亡くされ、ご主人と次男、三男は同じく陸軍軍人として、大東亜戦争で亡くされました。終戦時は43歳、夫を戦争で亡くした多くの若い女性のために、戦後すぐ、社会活動に立ち上がり、このような女性が滋賀県におられたことを、現代の滋賀県民は学ばなければならないと考えます。

連合軍(GHQ)による占領期間中の混乱期の昭和21年9月に滋賀県遺族会の設立に尽力。また、昭和24年10月には全国に先駆けて「滋賀県未亡人連絡協議会(現滋賀県母子福祉のぞみ会)」を創立されました。翌年の昭和25年、「全国未亡人会協議会(現全国母子寡婦福祉団体協議会)」を結成。以降、滋賀県だけにとどまらず、全国の母子福祉の向上と就労の場の確保、女性の地位向上と社会参加に多大な貢献をされました。



著者近影

## 開催内容

### 守田厚子さん受賞歴

昭和43年10月 藍綬褒章  
 昭和49年4月 勲四等瑞宝章  
 昭和63年11月 郵政大臣表彰  
 平成2年6月 関西大賞さわやか賞  
 平成5年10月 大津市名誉市民  
 平成16年10月 叙位叙勲 従五位銀杯  
 ほか

開催日時 本年11月30日(土)13時開会

開催場所 大津市「のぞみ荘」3階ホール

### プログラム

- (1)開会の挨拶
- (2)主催者挨拶 國松善次挨拶
- (3)守田厚子さん生涯業績の説明  
(スライドショー動画&ナレーション)
- (4)守田厚子さんを偲ぶ10分程度の関係者  
スピーチ(故守田厚子さんの思い出等)
- (5)守田先生ご親族、守田亮子様への花束贈呈
- (6)閉会の挨拶

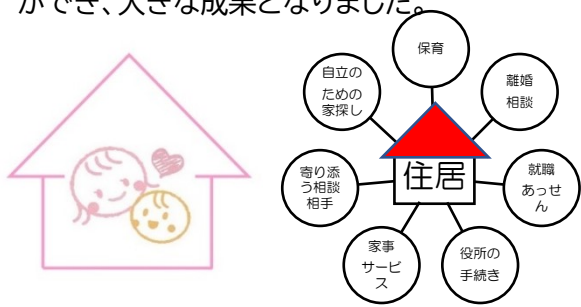
## 赤い羽根福祉基金の助成金を受けて

### 事業を通じて得られた成果

離婚前の母子にとって、配偶者のいる環境が脅威となるケースは多くあります。シェルターや母子生活支援施設などの緊急を要する場合に限らずとも、まずは配偶者と距離を置き、自分の状況を整理することや、次の動きをどうしていくか、客観的に捉えるなど、次の一歩に進むためのワンクッションとして機能することができました。実際の入居に至らなかったケースでも、他の相談機関の紹介や相談者に応じた支援制度を案内するなど、課題解決に向けた他機関との連携を図るきっかけをつくることができました。

また、この事業をより多くの方に広め、考え方を共有するために、他府県で実施している住居支援の視察見学や要望活動など、様々な場面において、外部との連絡、相談を定期的にも実施することにもつながり、結果として団体として支援技術、知識の向上につながりました。

3年間の中で得られた事業への理解と今後より必要とされるケースへのアプローチのために、子育て支援団体(保育園や子育てサロン、児童館など)との関係構築、各市町への事業説明会などを提案し、様々な方面の意見を交えながら、親子にとって質の高いサービス提供ができるような検討機会を得る事ができました。事業について、理解や知見を広めた事により住居が不安定な母子だけでなく、その母子を知る地域の方や母子の親戚など、母子にとってキーパーソンとなり得る方からの相談も増加しました。相談対応を通して、新たな課題など地域に暮らす母子のニーズ把握をすることにつながり、支援について検討するための要素を多く得ることができ、大きな成果となりました。



## WAM助成の決定をいただきました！

令和6年度社会福祉振興助成事業の採択をいただき「のぞみハウス」を継続することができました。

「赤い羽根福祉基金」助成1年目から要望活動を継続した結果、令和6年度から公的制度として新たな手法でシェアハウス事業を制度化することができました。これは当初からの課題であった「シェアハウスに入居したいが子どもが学校の転校をしたくない」という生活拠点を変えることに難色を示すケースです。通い慣れた学校や生活拠点を変えることは子どもにとって大きな環境変化となるため、お母さんは子どもの意思を尊重します。本当は家を出て生活環境の立て直しをしたいけれども厳しい生活に耐えることを選択されることとなり、入居に至らないケースがいくつもありました。この課題改善のために、住居支援と自立支援を母子支援コーディネーターが実施し、地域で定着できるように地域のピアサポーターも支援をする形である、いわばシェアハウスが地域に出張する形となります。既に開設している「のぞみハウス」は福祉医療機構の助成金をいただくことで継続して活動を実施し、二本柱となったのぞみハウスを拠点に、親子での生活の立て直しを図り自立に向けた支援を行います。

WAM助成では、食料支援事業の助成もいただきました。シェアハウス入居を希望される方々は、生活に困窮しており、ニーズキャッチおよび困窮者にとって重要な支援となります。ニーズ発見や地域で生活する母子が気軽に利用できるサービスを、アフターケアを活用でき、つながりをつくりことを目的として実施します。

また離婚時に課題となる養育費についても、養育費相談会の実施回数を増加し、相談が必要な方には随時の相談も受付いたします。専門的知識を有する相談員等に生活の安定と児童の福祉の増進を図るものとして実施しています。



独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

- のぞみハウス
- フードパントリー
- 母と子の居場所事業
- 養育費確保支援

## 滋賀県母子福祉のぞみ会 ローソン奨学金給付事業

ローソングループは、次世代を担う子どもたちが「夢」に向かってほしいという願いを込めて「夢を応援基金」を創設されました。

その一環として、2017年からは「ひとり親家庭支援奨学金制度」として、全国母子寡婦福祉団体協議会に寄付いただき、全国で400名の方に奨学金として、月額3万円の給付をいただいています。

滋賀県でも、厳正なる選考を経て、毎年数人の方に給付されています。

経済的な理由で子どもたちが自分の夢をあきらめることがないよう、支援して下さる事業所様への感謝も忘れず、皆で、子どもたちの健やかな成長と夢の実現を祈りたいものです。



**ローソンの奨学金を受けて**  
この度はご支援をいただきありがとうございます。これからも着実に将来の夢に向かって頑張っていきたいと思えます。 大津市 Oさん

今回は選んでいただきとても感謝しています。私は将来、小学校で特別支援学級を担当する教師になり、わかりやすい教え方が出来るよう、自分で考え学びを深めていきたいと思えます。期待と不安でいっぱいですが、自分を信じ、皆さまに良い報告ができるよう精進していきます。 草津市 Tさん

2年前経済的にも精神的にも非常に苦しい生活を送っていました。そんな中、本制度の紹介をいただきご支援を賜りました。県のぞみ会からは常に気にかけて連絡していただき、その安心感が日々の生活の大きな励みとなりました。娘も夢に向かって少しずつ歩んでおります。これからは、私も誰かのお役に立てる生き方をしていきたいと思えます。(母)草津市 Sさん

今回応募させていただきありがとうございます。内心、合格できるか不安でしたが、合格できとても嬉しいです。本当にありがとうございます。

進学の方は、志望大学から推薦をいただき残すところ面接のみとなっております。高校の担任の先生と面接練習を頑張っているところです。

私が大学に進学し、将来小学校で特別支援学級を担当する教師になるためには各教科に合わせた小学生の子どもや特別支援学級に在籍している子どもたちにとってわかりやすい教え方について自分で考えて学びを深めていきたいと思っています。

今の心情は、期待と不安でいっぱいではありますが自分はできると信じ、夢に向かって頑張ります。

今回5人の中の一人に選ばれとても感謝しております。皆さまに良い報告ができるように精進していきます。

栗東市 Tさん

僕の夢は日本の電気自動車を再び世界に送り出す事です。そのためには志望の大学で学び、知識と経験を重ねることでした。夢を応援基金でいただいた応援は、たくさんの参考書に使わせていただきました。自分で選んだ参考書で学ぶ喜びは大きいものです。何度も何度も繰り返し学ぶことは、自分の夢をつかむことです。僕は来年の春、必ず第一志望に受かると心に決めて、毎日頑張っています。

幼い頃から家庭の事情で塾に通えませんでした。今は学べる喜びの中で、今回の奨学金をいただいた方々に必ずお返しができるようになると思います。

一日一日、学べた事を喜びに思い、小さな充実を重ね、応援下さったことに感謝努力をしてゆこうと思います。ありがとうございました。

長浜市 Sさん

のぞみ会地域の取組紹介

母と子のふれあい広場



彦根市

7月28日(日)今年は41人の参加。「親子でバスに乗ったのは、初めてでうれしい！」の声も聞こえ、行先はヤンマーミュージアム。いろんなゲームにチャレンジ、足湯や塗り絵でほっこり。そして、ランチの後は鉄道博物館と長浜城の2コースに分かれてちょっぴり勉強も楽しい1日になりました(^\_^)



大津市

9月14日(土)大型バス2台で、三重県のモクモクファームに出発しました！暑い日でしたが、昼食はウインナーやハム、お野菜などバイキングを楽しみ、午後からウインナー作りを体験しました。自由時間は親子で広い園内を散策しました。楽しい一日を過ごせて大満足の日♪また来年も楽しみです！



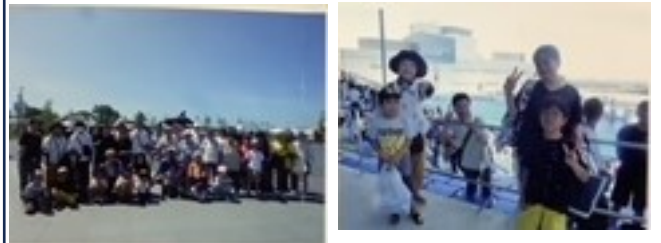
長浜市

7月28日(日) 岐阜県へ出発！食品のサンプル工房で、「こぼしたアイスのスマホのスタンド」作りを楽しみました。毎日役にたっています。大滝鍾乳洞もわくわくしながら元気に通りぬけ、とても楽しかったです。



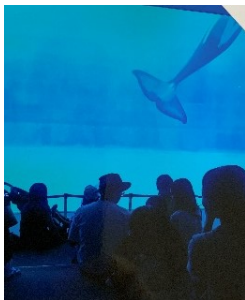
栗東市

7月28日(日) 夏休み最初の日曜日！オープン後1カ月半ということもあり、混雑覚悟で「神戸須磨シーワールド」にお出かけしました。子どもも大人も大きなシャチに大興奮♪楽しみにしていた水族館だったので、暑さと人ごみに負けることなく一日楽しませていただきました！



東近江市

7月13日(日) 昼食バイキングをいただき名古屋港水族館へ出発！ジェルキャンドル体験を行い取り組み帰りにお土産として持ち帰ることができました。水族館ではイルカショーを観覧し、親子で楽しい時間を過ごす事ができました。



蒲生郡

梨狩りとジェラートで秋の味覚を満喫！令和6年9月15日(日) アグリパーク竜王 29人2時間食べ放題の梨狩りに挑戦しました。甘くてみずみずしい梨でした♡ジェラートも美味しかった♪



## 吉本新喜劇の座員さんが「のぞみちゃん食堂」に駆けつけてくれました！

8月8日(木曜日)社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会様からのご紹介で、吉本新喜劇の新名哲郎さん、大塚滯さんがのぞみちゃん食堂に遊びに来てくださいました。吉本新喜劇は65周年で記念ツアーをされており、滋賀県では大津市市民会館で公演があり、全国に笑いをお届けされている真っ最中でした。

テレビで見る吉本新喜劇の座員お二人に子ども達は大喜びです！色々な質問をする中で優しく、そしておもしろくお答え下さいました。お昼にはのぞみ会役員の手作りカレーライスをみんなでいただきました。美味しくおかわり続出でした！食後はカードゲームなどで

一緒に遊んで下さいました。最後はお外で全員記念撮影です♪暑い夏休みの思い出の1ページを作ることができました。当日は、大津赤十字看護専門学校の学生さん達もボランティアで学習支援にご協力していただきました。



## 彦根のぞみ子ども食堂・フードパントリーまでのながれ こんな工夫をしています！

彦根市母子福祉のぞみ会 会長 瀧居順子

子ども食堂の活動には、関係機関や人とのつながりが大切です。

- 滋賀県社協「子ども食堂つながりネットワーク SHIGA」に加入。情報を得て物品の提供に応募し、助成金の申請をしています。助成金や金券は食材の購入に活用させていただくので、資金面で大変助かっています。
- 彦根市社協さんと連携。月2回開催のフードパントリーに米や菓子や食品等、また月1回豚肉を受け取りに行きます。こうして地域の方や店舗、企業様等からいただいた食材や食品を活用しています。
- スタッフ(有志会員とボランティアさん)の協力。旬の野菜やいただいた食材を活かして手づくりしています。

おかげさまで2016年6月に開催して以来、コロナ禍ではテイクアウトに切り替えて実施し、90回続けることができています。

9月14日、のぞみ子ども食堂とフードパントリーを開催しました。豚こま肉を重ねたカツや、甘くてジューシーな彦根梨がついたボリューム満点で彩りのよいランチ！「美味しい」とみなさん大喜びでした。

9月にご支援いただいた皆さま ありがとうございます

ツルハグループ子ども食堂ゆたかさ基金様 / 篠原欣子記念財団様 / 県社協さん 県のぞみ会さん / フードバンクひこねさん / フードバンク滋賀さん / 地域の方



- ・ご飯
- ・豚こまミルフィーユカツ
- ・豚カツ
- ・かぼちゃの素揚げ
- ・キャベツ
- ・オクラのごまあえ
- ・ポテトサラダ
- ・人参しりしり
- ・彦根梨
- ・しそジュース



## 物価高騰のなか、各地からフードパントリーに感謝！

スーパーでの買い物では、食糧品や日用雑貨の値上がりに思わずため息が出てしまいます。そのような中、フードパントリーでいただく食材等の提供は、本当に助かります。ご協力いただいた企業の皆様、地域の皆様、ありがとうございます。皆で仲良く分け合っています。



### 大津市のぞみ会

7月夏休み最初の日曜日に開催いたしました。この夏は厳しい暑さでしたが、子ども達も食べたい食品を選ぶためお母さんと一緒に参加してくれました。9月と10月も開催し、10月はハロウィンのお菓子をお渡ししました。こちらのお菓子は、活動にご賛同下さった方がかわいく詰めてお送り下さったものです。ありがとうございます。



【10月22日(火)】株式会社中谷組様から新米のご寄付をいただきました。ありがとうございます！

### 彦根市のぞみ会

9月14日(土)・10月5日(土)フードパントリーを開催しました。に参加された方からは「お米不足だったのでありがたかったです。お菓子もたくさんいただけて子どもが喜んでいました。彦根梨も甘くて美味しかったです」とお礼のお声をいただきました。これからも子育て世帯を応援していきたいと思います。



### 栗東市のぞみ会

9月1日(日)25世帯の家庭に配布いたしました。県のぞみ会と栗東市社協の協力を得て、たくさんの食品を配布いたしました。卵や油など生活に欠かせないものばかりでお母さん達から喜びの声を多数いただきました。



### 高島市のぞみ会

10月19日(土)高島支部では、テイクアウトお弁当の配布とフードパントリーを開催致しました。手作りお弁当は93食を親子にお渡しいたしました。フードパントリーでは、県のぞみ会より沢山頂いた食材、地元商店からの川魚佃煮もあり皆さん大変喜ばれてお持ち帰り頂きました。



### 蒲生郡のぞみ会

9月15日(日)ふれあい広場に参加された20世帯に配布いたしました。当日は梨狩りを楽しみ、帰りには食品のお土産があり嬉しい一日でした。このような取り組みがあることに心から感謝いたします。



## 養育費に関する個別相談

養育費とは…子どもの監護や教育のために必要な費用のことをいいます。一般的には、子どもが経済的・社会的に自立するまでに要する費用を意味し、衣食住に必要な経費、教育費、医療費などがこれに当たります。子どもを監護している親は、他方の親から養育費を受け取ることができます。なお、離婚によって親権者でなくなった親であっても、子どもの親であることは変わりありませんので、親として養育費の支払義務を負います。

### 養育費相談会日程

- 長浜会場(長浜市役所)11月14日(木)
  - 大津会場(滋賀県母子福祉のぞみ会)2月1日(土)
- ※相談が必要な方は上記以外の日程でも随時受付しております。予約は滋賀県母子家庭等就業自立支援センターまでご連絡下さい。  
TEL 0748-37-5088

### 法律相談会日程

	近江八幡	大津
11月	14日(木)	28日(木)
12月	12日(木)	26日(木)
1月	16日(木)	23日(木)
2月	13日(木)	27日(木)
3月	13日(木)	27日(木)

## ボランティア募集中!

- 学習支援サポーター  
毎月第3土曜日に開催しているのぞみちゃん食堂では、午前中に子どもの学習支援を行っています。子ども達に勉強を教えて下さるサポーターさん募集中です。
- 日常生活支援員  
子育て支援員…保育士、幼稚園教諭、看護師等  
生活支援員…介護初任者研修、介護福祉士、看護師資格を有する方ご登録いただき、支援を必要とされる家庭に派遣をお願いします。こちらは有償ボランティアとなります。

子育て支援 1,000円/時間  
生活支援 2,000円/時間

## 賛助会員募集

本会はひとり親家庭・寡婦の生活の安定と子どもの健やかな成長を願い様々な取り組みを行っている団体です。私たちの活動に賛同し支援して下さいの方々を募集しております。一口 1,000円～

[令和6年度賛助会員 4/1～10/31まで](敬称略)  
長岡紀雄 町田直通 岸本登 宇田毅 葉月陽  
尉 連春 池口博信 山口剛  
株式会社三幸ハウジング

- 寄付金振込先  
滋賀銀行 本店営業部 普通 701947  
ゆうちょ銀行 01020-5-26813  
社会福祉法人滋賀県母子福祉のぞみ会会長坂下ふじ子

**編集後記** 物価高騰が続くなか、フードパントリーの大切さをしみじみと感じます。いただいた物資を直接、お配りすることも大事ですが、それらの食材を活用し、心を込めて調理し、こども食堂のお弁当としてお配りされている県のぞみ会や彦根市のぞみ会、高島市のぞみ会は素晴らしい取組をされています。継続することは大変なことですが、母子にとって日々の暮らしの中で最も感謝されることだと思います。心からエールを送り、感謝申し上げます。

